

2月18日

テーマ：キリストは生きていて、とりなして

聖書箇所：ヘブル人への手紙7章25節

◆今日のみことば

したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。
キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。
ヘブル人への手紙7章25節

◆メッセージ

クリスマスには、天の神さまが、私たちへ、イエスさまを救い主としてプレゼントして下さったことに感謝して、お祝いします。イースターには、私たちの罪の身代わりとなって十字架で死んで下さったイエスさま

のよみがえりを喜びます。しかし神さまのお恵みとは、それだけに終わりません。

よみがえられたイエスさまは、今も生きておられます。父なる神さまがおられる天にお帰りになられたイエスさまは、天で休んでおられるのではありません。イエスさまは、どんな時でも、私たちからいつでも目をはなさないで、毎日忘れずに、お祈りしていただきます。私たちがあぶないことに出会わないように、悪いいたずら

をしないように、お友だちと仲良くできるように。私たちが聖書の教えに導かれて、悪い道にはいらぬようにと、いつでも天から見守り、助けてくださるのです。

これが、大祭司イエスさまのお働きなのです。このようにイエスさまが、私たちのことをとりなして（心配して）おられます。私たちは、イエスさまのとりなしに守られて、信仰生活を続けることができ、最後まで信仰をもって生きることができるのです。イエスさまののりです。朝と夜には次のようにお祈りして、助けられ守っていただきましょう。



◆お祈り

大好きなイエスさま、今日も遊んだり、勉強したりした時、無事に守ってくださり、感謝します。

(支援教師 葛西清蔵)